

校務支援システム(C4th)を活用した調査報告方法の改善

～ 保健関連と給食実施における事務の軽減と簡略化 ～

第3次多忙化解消行動計画 窓3 教育委員会等との協働・分担 No.⑧【新規】

令和3年度から稼働した統合型校務支援システム(C4th)の機能を活用して教育委員会との情報共有を図るとともに、事務処理にかかる業務負担の軽減と効率化を図っています。

今回は、保健の分野における取組をご紹介します。

保健管理機能

健康診断



- (1) 健康診断の結果を登録できます。
- (2) 健康診断の結果を健康診断票として作成できます。
- (3) 健康診断の結果を各種の受診勧告書として作成できます。
- (4) 健康診断の結果を健康診断一覧表として作成できます。

保健室利用

- (1) 保健室の利用状況を登録できます。
- (2) 利用状況一覧を印刷できます。
- (3) 来室した児童生徒を画面上で確認できます。
- (4) 児童生徒に対して行った健康相談についての記録を登録できます。
保健室来室情報は、抽出条件を設定したうえで、データ(Excel)として集計結果を出力できます。



各学校

入力します♪



教育委員会

各学校での集計値を教育委員会へ報告できる機能を有しています。

グループウェア機能の活用

教育委員会が共通して使用する文書を「書庫」に格納すると、各校でダウンロードすることができます。また、照会や報告、調査などには「文書連絡」の機能を使用し、教育委員会から配付された依頼文書について、学校側が受信し、回答案文を添付、返信することが容易にできます。

<令和4年度に向けて>

学校欠席者・感染症情報収集システムと校務支援システムの連携について構築中です。

令和4年度の稼働を目指します！



コミュニティ・スクール推進事業を通じた支援体制づくり

第3次多忙化解消行動計画 窓1 地域・保護者・外部人材等との協働・分担 No.⑦【拡充】

新米校長 CS 日記 「みんなで、ともに ～子どもを思う志は一つ～」 編

令和4年度、学校は学校運営協議会（以下、協議会）を設置し、コミュニティ・スクール（通称、CS）として、地域と学校が支え合い、ともに成長し、活性化していく「地域とともにある学校」づくりを進めます。ある学校の協議会の様子から、その効果や可能性を紹介します。



協議会の活用は、地域の方々と「地域の未来を託す子どもの姿」を共有し、子どもを中心にした熟慮と議論を交わし、多様な意見やそれぞれの得意分野を融合させて課題解決の方策を見出したり、多彩なニーズに応える活動をデザインしたり、また、これまでの学校運営を改善したりするなど学校や地域によってさまざまです。協議会の成熟に伴い、望ましい教職員の働き方へ改善させるための一つのツールとする協議会も増えるものと想定しています。協議会の設置とともに、すべての教職員が地域の方々と志を一つに「地域の未来を託す子どもの姿」の実現に取り組んでいくことが求められます。